

講 義 要 項

| 授業科目 | | 共通基本技術Ⅱ(フィジカルアセスメント) | | 担当者 | 松下 三千代 |
|-----------------------|--|----------------------|---------------|-----|----------|
| 区分 | 単位数 | 時間数 | 授 業 形 態 | | 履修年次・前/後 |
| | 1単位 | 20(30)時間 | 講義・演習・DVD・その他 | | 2年次・前期 |
| 授 業 目 標 | 1. フィジカルアセスメントの意義と目的を理解し、必要な基本技術を学ぶ。 2. バイタルサイン測定で得られた情報を基に、全身状態のアセスメントができる。 3. 系統別フィジカルアセスメントに必要な基礎知識、技術を習得する。 | | | | |
| 授 業 内 容 | 1. フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーション 2. セルフケア能力のアセスメント 3. フィジカルアセスメントに共通する技術 1) 面接(問診) 2) 身体観察(視診・触診・聴診・打診) 4. 全身状態のアセスメント 1) バイタルサインの観察とアセスメント 2) 主観的情報と客観的情報 5. フィジカルアセスメントの実際 1) 演習による面接と計測 6. 系統別フィジカルアセスメント 1) 呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント 2) 感覚器・頭頸部のフィジカルアセスメント 3) 筋・骨格系・神経系のフィジカルアセスメント 4) 皮膚・内分泌・腹部のフィジカルアセスメント 5) 乳房・腋窩・排泄に関するフィジカルアセスメント | | | | |
| 参 考 文 献 等 | 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(2), 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院. 2. 看護がみえる vol 3, フィジカルアセスメント, メディックメディア. | | | | |
| 評 価 | 1. 単位修得試験、出席状況、授業態度、演習態度などから総合的に判断する。 | | | | |
| 備 考 | 実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。 単位修得試験はフィジカルアセスメント7割、学習支援3割で評価する。 | | | | |

講 義 要 項

| 授業科目 | | 共通基本技術Ⅱ(学習支援) | | 担当者 | 寶満 孝子 |
|-----------------------|--|---------------|---------------|-----|----------|
| 区分 | 単位数 | 時間数 | 授 業 形 態 | | 履修年次・前/後 |
| | 1 単位 | 10(30)時間 | 講義・演習・DVD・その他 | | 2 年次・後期 |
| 授 業 目 標 | 1. 看護実践の基盤としての指導技術について理解し、患者・家族への健康教育の必要性を理解する。 | | | | |
| 授 業 内 容 | 1. 看護における学習支援の目的 2. 看護における学習支援の場面 3. 外来における学習支援 4. 入院から退院までの学習支援 5. 指導形式 ・個別指導・集団指導 6. 指導に使用する教材・媒体 7. 個別指導のプロセス 8. 集団指導のプロセス 9. 個別指導・集団指導の利点・注意点 10. 事例による学習支援の実際 11. 学習支援計画案・教材作成・発表 | | | | |
| 参 考 文 献 等 | 系統看護学講座 基礎看護学(2), 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院. 配布資料 | | | | |
| 評 価 | 1. 単位修得試験 2. 学習支援計画案・教材作成・発表 | | | | |
| 備 考 | 実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。 | | | | |